

(様式1)

## 令和6年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第一寺島小学校
校長名	高橋 誠人

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<p>【学校全体的な傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学年ごとの学力差は多少見られるものの、学校全体としてみると、概ね全国の平均を上回っている。</li></ul> <p>【観点別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校全体として、「主体的に学習に取り組む態度」は、全国を上回り、高い数値を示している。特に、国語科における同観点では、全ての学年が10ポイント程度、全国平均を上回っている。</li></ul> <p>【学年別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1年生から5年生まで、学年の学力差はあるものの、概ね安定して全国の平均より高い傾向にある。</li></ul> <p>【教科別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国語、社会、算数で全国の平均より高い傾向にある。特に算数では、全ての学年の全ての領域で全国の平均を上回る数値となっている。</li></ul>	<p>【学校全体的な傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1年生から5年生までは、ほぼ全ての学年・教科・観点において全国平均を上回っている。6年生の学力の向上が課題となっている。</li></ul> <p>【観点別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校全体として観点別に調査結果を見た限り、特に低い数値は見られない。</li></ul> <p>【学年別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第6学年の学力が、他の学年に比較して低い傾向にある。6年生の学力が低いので、理科や英語といった、高学年だけの教科で低い数値となっている。</li></ul> <p>【教科別の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第6学年の学力が低いことが原因で、理科や英語の学校全体としての数値が低くなっている。英語に関しては、全国よりも1ポイントから2ポイントであるが、低い数値が見られる。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・学習習慣において、2年生4年生6年生において全国平均を上回っていた。</li><li>・学習意欲においては、5年生を除く全ての学年で全国平均を上回っていた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学級環境の項目の「学級の規範意識」では、学級間格差が現れている。全校で共通した取組が必要である。</li><li>・学習意欲において、5年生が平均を下回っているため、自分の思いや考えを伝え合う活動を通して、学ぶことが楽しいと感じたり学ぶ価値を実感したりできる学習の展開が必要となる。</li></ul>

### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・令和6年度の全国学力・学習状況調査の国語科の無回答率をみると、1.6%であり、全国の12%を大きく下回っている。また、問題形式において、記述式で全国と比較すると高いポイントになる傾向がある。自分の考えを文章化する児童が多いことを示している。	・配慮が必要な児童が年々増加傾向にあり、学習活動に手だてが必要となっている。また、不登校児童は他校と比較すると少ない実態があるが、登校をしぶる児童も数名いる。

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 校内研究を軸とした授業改善

令和6年度、本校の研究主題は、「学びを深める児童の育成」であり、副主題として「～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～」と位置付けた。研究科目は国語科とし、低学年・中学年・高学年でそれぞれ研究授業を1本ずつ行い、分科会での検討会だけでなく、全体での授業検討会の機会を設けた。また、学力向上に向けて、当該単位ではどの指導事項を育成することが目的となっているのかを、全員で確認し、その手立てとしての言語活動が有効だったのかを検討した。さらに、校内で行う各種研修会を活用し、指導法の向上に努めた。

### (2) 人事考課制度を活用した自己申告時の授業

授業力向上のため、管理職による直接の指導を効果的に行うために、年間3回の自己申告時の授業を以下のように位置付けた。

- ・当初申告：道徳・・・授業の基本的な展開や発問、板書、子供の発言の取り上げ方等
- ・中間申告：算数・・・課題解決的な学習（問題把握、めあての設定、解決の見通し、自力解決、交流、一般化、適用問題）
- ・最終申告：体育・・・発問の簡潔性 道具 安全面の配慮 運動量等

共通の教科や指導のポイントを明確化することで、学年内で指導法の共通理解を図り、共通実践ができるようにした。

### (3) 墨田区学習状況調査の結果の考察と授業改善

墨田区学習状況調査の結果より、学年の課題を明確化した。校長の指導の下、課題を解決するために、設問に関わる資質・能力を、どの単元で育成するのかの計画を立てた。

## 3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・上記の授業改善により、2年生から6年生までの、国語と算数のポイントが、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」の観点で全国平均を5ポイント上回る。
- ・「一生懸命は、カッコいい」という、大切な価値観と諦めない姿勢を全ての児童に身に付けさせ、「主体的に学習に取り組む態度」を全国平均より10ポイント上回る。